

発達段階に応じたキャリア教育の実践
－年間指導計画に基づいた各学年でのとりくみ－

1. 設定理由

子どもたちを取り巻く社会の状況は、環境の変化や技術の発展など大きく変わってきており、将来の予測も困難な時代になってきている。そのような状況の中で、子どもたちが将来を生き抜くためには、勤労観だけでなく、多様な生き方や考えに触れながら、新たな価値観を想像したり、他者との関わり方について学んだりする必要がある。

また、現在、自ら課題を発見することや、その解決に向けた主体的・協働的な学習が注目されている。子どもたちが将来を生き抜くために、様々な人と関わり合い、新たな知識や価値を創造することが、これからの学校教育に求められている。

そこで、各学年ごとにキャリア教育の視点を取り入れた年間指導計画を作成し、小学校の6年間で発達段階に応じた指導を行っていくことで、将来に向けた勤労観や多様な価値観を育てることができると考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

○発達段階に応じた年間指導計画を作成すれば、将来に向けた勤労観や多様な価値観が育つであろう。

○各教科や活動の中にキャリア教育の視点を取り入れれば、社会の一員としての役割について考えるきっかけとなるであろう。

3. 研究内容

- (1) キャリア教育のとらえ方
- (2) 各学年におけるとりくみ
- (3) 特別支援学級におけるとりくみ

4. 結論

○教育活動全体を通してキャリア教育を行っていくという意識を高めることができ、子どもたちが自分のあり方を考える機会を増やすことができた。

○職業観だけでなく、いろいろな立場の方々と関わる活動を取り入れたことで、多様な価値観に触れ、将来に役立つ経験をさせることができた。

発達段階に応じたキャリア教育の実践
－年間指導計画に基づいた各学年でのとりくみ－

1. 設定理由

(1) 社会的背景から

現在、子どもたちを取り巻く社会の状況は日々変化している。少子高齢化やグローバル化などの環境的な変化だけでなく、コンピュータ技術の発達などの技術的な変化も著しい。米デューク大学の研究者であるキャシー・デビットソン氏は、ニューヨークタイムズ紙のインタビューの中で「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう。」と語っている。また、英オックスフォード大学のマイケル・A・オズボーン准教授は、702の職種についてコンピュータに取って代わられる確率を試算し、今後10～20年程度で、米国の総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高いという予測を論文で発表した。このように、子どもたちは今後、将来の変化を予測することが非常に困難な時代を生き抜いていかなければならない。

このような時代背景の中で、日本でも、自ら課題を発見することや、その解決に向けた主体的・協働的な学習を取り入れていかなければならない。子どもたちが将来を生き抜くために、様々な人と関わり合い、新たな知識や価値を創造することが、これからの学校教育に求められている。

(2) 子どもの実態から

本校の子どもは、明るく活発な子が多く、行事などの際には非常に前向きに取り組んでいる姿が見られる。しかし、相手の気持ちを思いやったり、課題に対してじっくりととりくんだりするのが苦手で、自己中心的な子も多く見られる。また、学力的にも定着に時間がかかる場合が多く、全校的な学力の向上が大きな課題となっている。

地域的には、教育的な関心が高く、協力的な家庭もあるが、母子家庭や父子家庭など不安定な家庭も多い。感情のコントロールがうまくできず、放課後や長期休業中に生徒指導をしなければならないこともある。

2. 研究仮説

○発達段階に応じた年間指導計画を作成すれば、将来に向けた勤労観や多様な価値観が育つであろう。

○各教科や活動の中にキャリア教育の視点を取り入れれば、社会の一員としての役割について考えるきっかけとなるであろう。

3. 研究内容

(1) キャリア教育のとらえ方

キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

(中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」

(平成23年1月31日))

祇園小におけるキャリア教育

祇園小学校では、毎年、キャリア教育全体計画(資料参照)を作成している。また、各学年ごとのキャリア教育年間計画(資料参照)を作り、学年に応じたキャリア教育や教科におけるキャリア教育を意識できるようにした。各行事だけでなく、道徳や生活、総合などの普段の学習の中にも、キャリア教育の視点を取り入れて作成している。

(2) 各学年におけるとりくみ

低学年での実践

低学年では、主に各種行事や普段の学習の中での実践を行った。1年生は、校外学習でマザー牧場、2年生は千葉市動物公園に行く。それらの活動の中にもグループでの活動などを取り入れ、子どもたちが考え、選択できるような場を設定している。他にも、道徳や生活科などを中心に、自分たちにできることや人との関わり合いといったキャリア教育の視点を持たせながら指導に当たっている。普段行っている授業でも、学年ごとのキャリア教育年間計画があることで、キャリアについて意識しながら指導を行うことができた。

中学年での実践

① 3年生の実践 キッザニア校外学習

<事前学習>

キッザニアの事前学習として、キッザニアがどのようなところで、どんな目的で行くのか学習を行った。「キッザニアでの体験を通して、いろいろな仕事のやりがいや楽しさを知る」、「公衆道徳を考えた行動を通して、社会性を身につける」の2つを目的として設定し、実行委員を中心に自分たちの言葉でめあてを考えさせた。

さらに、将来の夢や職業について考えるための活動として、仕事調べと行動計画作りを並行して行った。インターネットや図書室の本を中心に、自分の将来なりたい職業について調べ、仕事の内容や資格などについてわかったことをワークシートにまとめた。詳しく調べることで、今まで表面上しか見えていなかった仕事内容や苦勞などを知り、漠然としていた仕事や夢への考えに具体性を持たせるきっかけとなった。また、キッザニア内ではグループ行動ではなく、一人ひとり行動計画を作

らせた。グループ行動によって友だちに引っ張られることなく、自分のやりたいことや興味のあることに積極的にとりくませることをねらいとした。

<当日>

キッザニアスタッフの方からの説明後、各自で行動を開始した。

事前に準備してあった計画に基づいて、各自が体験したいパビリオンに行き、多くの仕事体験をすることができた。数名の友だち同士で行動する子もいたが、一人で自分の計画に沿って積極的にパビリオンを回っている子も多く、充実した体験になった。中には、予定していなかった体験にも挑戦し、新たな発見を得られるなど、今まで興味の無かった仕事にも興味を持つことができた子もいた。

また、実際にキッゾという架空のお金をもらうことができ、働いて稼いだキッゾを使って買い物をしたり、体験を楽しんだりすることもできた。キッゾを使わずに、貯めて持ち帰った子もいて、働いて報酬をもらうことの苦労やお金の大切さなどについて実感するよいきっかけにもなった。



<事後>

校外学習後、キッザニアのキャリア教育実践プログラムを活用し、事後指導を行った。実際に体験した仕事の中から、楽しかったもの、印象に残ったものなどを選び、仕事紹介カードにまとめさせた。今までは、調べることが中心であったが、事後指導では、紹介カードという形で自分から他の人へ発信するという形にした。紹介し合うことで、より深く振り返り、その仕事について改めて調べ直すなど、主体的な学習の場を増やすことができた。

② 4年生の実践 福祉体験

4年生では、総合的な学習の時間の中で福祉体験を行った。アイマスクや重り、車椅子などを使い、体が不自由な人の役と介助者の役を交代で体験した。体の不自由な人たちが普段どのようなことを感じながら生活しているのか、子どもたちは実際に体験したことで初めて気づくことも多かった。逆に、介助者としても、知識や経験が無く、初めのうちは、ほとんどの子どもが恐る恐る介助をしていた。しかし、それでは逆に危険なことに気づいたり、要領を掴んだりする中で徐々に介助にも慣れていく姿が見られた。ただの介助体験ではなく、体の不自由な人の体験もすることで介助する側とされる側、両方の視点から福祉について考えるきっかけとなった。様々な立場や役割について考え、多様な生き方や価値観を持つ上でも貴重な時間を過ごすことができた。

高学年での実践

① 5年生の実践 かもめの里（高齢者施設）訪問

本校の近くに「かもめの里」という高齢者施設がある。毎年、5年生の子どもたちが訪問をし、高齢者の方たちと交流を持っている。4年生では、障害という視点から、生き方や価値観について触れてきた。5年生では、高齢者の方たちとのふれ合いを通して、生きることや働くことの尊さについて考える機会となっている。

事前にいくつかのグループを作り、交流の際に何をするか計画を自分たちで立てさせた。自分たちが楽しむのではなく、高齢者の方たちにとって楽しく、かけがえのない時間を過ごしてもらうためには、何をすればよいかという視点で事前学習を進めていった。地域の実態として、核家族が多く、高齢者の方とふれ合う機会が少ない児童も多い。子どもたちなりにグループや家族と相談をしながら、高齢者の方の立場になって考え、計画や準備を進めていった。

当日は、全体での始めの会の後、グループごとに分かれ、数名のお年寄りとそれぞれ交流を持った。子どもたちも高齢者の方も最初のうちは戸惑う様子もあったが、事前に用意してきた昔遊びや読み聞かせなどを通して高齢者の方たちと貴重な時間を過ごすことができた。中には、体の不自由なお年寄りや痴呆の症状が出ているお年寄りもいたが、施設の方の協力もあり、相手に合わせてゆっくり大きな声で話したり、優しく接したりと自分たちで工夫しながら、高齢者の方たちに



喜んでもらおうとがんばる姿も多く見られた。グループによっては、事前に計画していた内容とは違うが、会話を楽しむなど相手に合わせて臨機応変に活動していた。

交流の時間が終わり、学校に戻る際には、涙を流して別れを惜んでいる方もいた。子どもたちの感想を見ると、「喜んでもらえてよかった」、「個人的にまた遊びにいきたい」、「もっとお年寄りを大切にしようと思った」などが多かった。人のために何かをするという経験を通して、自分たちの成長や新たな価値観を見出すことができた。

② 6年生の実践 ゆめ・仕事びったり体験

<事前学習について>

本校では、毎年2学期に地域の事業所をお願いをして、就業密着体験学習を行っている。2016年度は、11月29日（火）に行った。就業密着体験学習を行うにあたり、まず、夏休みに自分の将来、就いてみたい職業調べ（資料参照）を休業中の課題の一つとして出した。ねらいとしては、1つ目は、自分の将来の夢について考え、その仕事の内容や必要な資格、知識などを調べることで、職業についての具体的なイメージを持たせることである。2つ目としては、子どもたちが調べてきた職業を基に、できるだけ希望に合った事業所を精選するためである。

子どもたちは、それぞれ思い思いの職業について調べてきたが、男子に多かったのは、ゲームクリエイターなどコンピュータを扱う仕事が多かった。中には、ユーチューバーについて調べてきた子もいた。女子に多かったのは、パティシエールや美容関係が多かった。

<事業所について>

子どもたちの職業調べをもとにしながら、事業所の精選を行った。2016年度は、全部で13の分野、21の事業所に決定した。実際に体験させていただいた事業所の分野は以下の通りである。

- | | | | | | |
|------------|--------|-------------|--------|------|-----------|
| ・コンピューター関係 | ・衣料品関係 | ・コンビニエンスストア | ・自動車関係 | | |
| ・公民館 | ・介護関係 | ・動物病院 | ・郵便局 | ・消防署 | ・保育、幼稚園関係 |
| ・美容関係 | ・花関係 | ・スーパーマーケット | | | |

獣医やトリマーといった動物関係の職業を希望している子も多く、前年度には無かった。動物病院を新たな事業所として開拓した。

<体験先の決定>

子どもたちが体験先を決める際には、エントリーシート（資料参照）というものを使用した。エントリーシートとは、体験したい事業所の分野とその分野を希望する理由を書く紙のことで、このエントリーシートや職業調べの内容などを含めて、教職員側で体験先を決定していった。話し合いなどで体験先を決めるとグループや友だちありきで体験先を選んでしまう子もいる。そうではなく、純粋に自分たちがやりたいと思える体験先を選んでもらいたいと思い、このような方法で体験先を決めていった。実際の就職活動の際にも、エントリーシートというものを使うことに

についても触れながら説明をし、体験先でどんなことを学びたいのかということが擬似的に職業選択について考えることにつながった。また、実際の体験に向けて、子どもたちの意識付けにも役立った。

<事前打ち合わせ>

前年度までは、教職員が電話したり、実際に伺ったりして事前の打ち合わせを行っていた。しかし、子どもたちにさらに社会への意識を持たせるために、体験先との事前打ち合わせを子どもたち自身で行わせることにした。実際に全員で体験先に伺い、事前打ち合わせを行うことができれば良かったが、学区外の体験先などもあったため、電話での打ち合わせにした。休み時間などを活用し、学校の電話から代表の子が各事業所に電話をかけさせた。打ち合わせの仕方や内容については、フローチャート式のワークシートやメモを用意し、できるだけ自分たちだけで進められるように準備をした。普段このような電話をすることのない子どもたちにとっては、とても緊張し、慣れない敬語にも戸惑っていたが良い経験になった。もちろん教職員がお膳立てし、当日ただ体験したり、見学したりするのは違い、自分たちの手で体験を進めていくという意識を高めることができた。

<事前学習>

体験を行うに当たり、礼儀やマナーなどの事前学習を行った。体験先ごとに練習を行い、始めの会や終わりの会なども自分たちで進められるようにした。また、総合の時間などを使って、体験先の仕事内容などについても調べ、グループごとに目標を考えさせ、どのようなことを見て、学んでくるのかを意識させるようにした。どのような質問をすればよいかも考えさせ、目的や見通しを持って体験に臨めるようにした。

<当日>

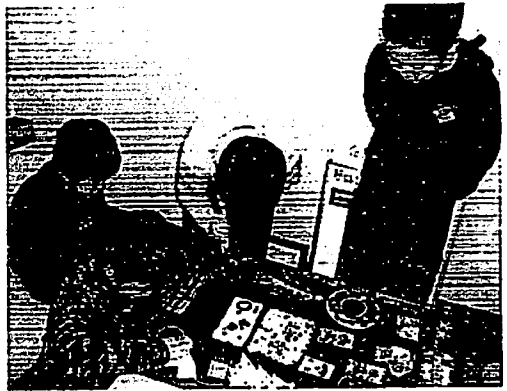
当日は、教職員か保護者ボランティアが各事業所ごとに1人付き添い、体験先へ向かった。事前学習で行った練習を元に、自分たちで始めの会を行ったり、質問をしたりしながら意欲的に体験を行うことができた。事前に仕事調べを行っていたこともあり、見学のポイントなども意識しながら活動することができた。

就業密着体験学習ということで、必ずしも職業体験をしなければいけないわけではない。しかし、以前からお世話になっている事業所も多く、実際に品物を店頭で並べたり、幼稚園や保育園では、幼児と一緒に活動したりという体験をすることができた事業所が多かった。中には、バックヤードの掃除といった、普段目にする事のない裏での仕事を体験した事業所もあり、働くことの厳しさについて気付くことができた子もいた。

また、見学を中心に行った事業所では、従業員の方しか入れないような場所を見学させていただいたり、じっくりと説明をしていただいたり、充実した時間を過ごすことができた。体験できない代わりに資料を用意してくださった事業所もあり、継続してお願いをしている成果も感じることもできた。



どの事業所でも、人との関わりやお客さんを大切にしていることなどを話していただいた。些細なことや、自分が客の立場で利用している時には意識していなかったことにも気付かせることができ、社会に出るために、普段から身の回りに気を配りながら、やれることをしっかりとやることが大切であると実感させることもできた。



<事後>

体験終了後、簡単ではあるが、各事業所へのお礼の手紙をとりくんだ。体験して気づいたことやわかったことを盛り込むことができた。また、体験してきたことを新聞にまとめた。自分たちが体験してきたことの紹介や、やりがい、苦労などを書きながら就業密着体験学習をふり返せることができた。

(3) 特別支援学級におけるとりくみ

本校には、情緒学級1，知的学級2の計3学級の特別支援学級がある。毎年、11月には全校でのバザーが行われており、その際に自分たちで作ったものを販売している。小物等を中心に、1から自分たちで手作りをして準備し、自分たちで販売も行う。売り上げたお金を自分たちの活動にあてるということを行っている。

自分たちの手で制作から販売まで行う中で、それぞれができることを役割分担しながら活動することができた。また、たくさんの人たちとも関わる中で、将来働くということや人との関わり方などを意識させることができた。

4. 結論

(1) 成果

各学年の年間指導計画を作成したことで、教育活動全体を通してキャリア教育を行っていくという意識が、より具体的なものとなった。各教科の単元などとキャリア教育の視点を示すことで、普段の学習や活動の中でもキャリア教育を意識してとりくんでいくことができた。行事ありきのとりくみで終わらせるのではなく、日常的な活動の中にキャリア教育の視点を取り入れることが重要であると再認識することができた。

3年生ではキッザニアへの校外学習、6年生では就業密着体験学習があり、将来の職業について考えるきっかけを作ることができた。発達段階に応じて、3年生では、働くことの楽しさや喜びを実感させ、6年生では、より具体的に働くことのやりがいや苦労、その職業に就くために何が必要かなどを考えさせることができた。特に6年生は、最高学年ということもあり、周りの人たちとの関わりや学校のために何かするという意識するようになった。

職業だけでなく、福祉や高齢者といった普段接することのない人たちについて考える活動を取り入れたことは子どもたちにとって貴重な経験となった。多様な生き方や

価値観に触れる中で、子どもたち自身の中に新たな発見や気づきを生み出すことができた。社会的にも、高齢化やユニバーサルデザインのとりくみなどが広がっていく中で、将来的に役に立つ経験をさせることができた。

日常生活の中でも、係や委員会の活動などに進んでとりくむ姿が見られるようになった。他にも、手伝いやボランティア活動にも意欲的にとりくむ子が増え、人のために働くことへのやりがいを感じられるようになった。

(2) 課題

各学年ごとに年間指導計画を作成したが、学年間の系統性など縦のつながりが弱い。全校単位での柱となるとりくみなどを取り入れ、6年間を見通した、より具体的なねらいや児童像が設定できると良い。また、各教科や普段の教育活動の中にもキャリア教育の視点を設定したが、実際の指導内容については、各学年任せになってしまった。学校として6年間のとりくみを見直し、深めていく必要があると感じた。

各行事を通してのとりくみについては、例年行っているものも多く、マンネリ化している部分もある。例えば「ゆめ・仕事ぴったり体験」では、事業所の分野を拡大したり、ゲストティーチャーを招いての学習をとりいれたりすることも考えられる。他の行事に関しても、行事の後に、学んだことを日常の中にどのように取り入れていくかというところが課題となっている。行事をマンネリ化や一過性のもので終わらせないための工夫が必要である。

<参考文献>

○国立教育政策研究所 生徒指導研究センター

『「キャリア教育」資料集研究・報告書・手引編（平成24年度版）』

○文部科学省『小学校キャリア教育の手引き』<改訂版>

○キャリア教育の視点で学校教育を見直そう 千葉県版「キャリア教育の手引」

資料編

学校教育目標

互いに認め合い、励まし合って、たくましく生きる児童の育成

1 キャリア教育とは

「キャリア教育」とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

※キャリア：人が生涯の中で様々な役割を果たす課程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね。

※キャリア発達：社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程。

キャリア教育の更なる充実のために 一期待される教育委員会の役割一
文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導研究センター
発行 平成23年2月より抜粋

2 本校の目標

- 働く人の努力や苦勞を見たり体験したりして、働くことの大切さを実感することができる。
- 働く人にふれる中で、働くということの意義や目的について意識を深めると共に、自らのこれからの生き方を考える機会とすることができる。
- 地域の中で学ぶ機会を設けることにより、「生きる力」を育む。

3 祇園小学校のキャリア教育の実際

・本校の教育目標（目指す児童像）とキャリア発達に関わる諸能力との関連

- 心豊かな子 （自己理解・自己管理能力）（キャリアプランニング能力）
- 学び、みがき合う子 （人間関係形成・社会形成能力）
- 心身をきたえる子 （課題対応能力）

・具体的な内容

- (1) 木更津市教育委員会のねらいと本校の教育目標と関連づけ、各教科・領域を通して、教育活動全体の中で実践していく。
- (2) 平成20年度から完全実施となった6年生の「ゆめ・仕事びったり体験」については、キャリア教育推進委員会を中心に、学校全体で推進していく。
- (3) キャリア教育年間指導計画に沿って実践し、見直しをしていく。

キャリア教育年間指導計画

第 1 学年

木更津市立祇園小学校

基礎的・汎用的能力	1 学期	2 学期	3 学期
<p>(1) 人間関係形成・社会形成能力</p> <p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いちねんせいになったよ (生活) ・みんなに話そう (国語) ・おはなしたくさんききたいな (国語) 	<ul style="list-style-type: none"> ・マザー牧場へ行こう (生活) 	
<p>(2) 自己理解・自己管理能力</p> <p>自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする能力。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・いえの人のえがおを見つけよ (生活) 	
<p>(3) 課題対応能力</p> <p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・8の字とびに挑戦しよう (児・体・学)
<p>(4) キャリアプランニング能力</p> <p>「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・じぶんでできるよ (道徳・勤勉努力) ・ぼくにもたせて (道徳・家族愛) ・日直、係活動、給食当番 清掃 ・着がえ、学習の用意 帰りの用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぎんのしずく (道徳・家族愛) ・わたしにできること (道徳・家族愛) 	

基礎的・汎用的能力	1学期	2学期	3学期
<p>(1) 人間関係形成・社会形成能力</p> <p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 好きなことを伝えよう (国語) 見つけたことを分かりやすく書こう (国語) 	<ul style="list-style-type: none"> おすすめの本を紹介しよう (学活) 生きもののことをせつめいしよう (国語) きょうからともだち (道徳・友情、助け合い) 	<ul style="list-style-type: none"> お別れ会をしよう (学活) 6年生をおくる会の準備をしよう (学活)
<p>(2) 自己理解・自己管理能力</p> <p>自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 朝、帰りの会でスピーチ——がんばったことの紹介 (学活) おいしい野菜を育てよう (生活) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県動物公園へ行こう (生活) 小さなゆきうさぎ (道徳・思いやり、親切) 	<ul style="list-style-type: none"> これまでのわたし これからのわたし (生活) おりがみめいじん (道徳・勤勉、努力)
<p>(3) 課題対応能力</p> <p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> そうじの仕方を知ろう (学活) レッツゴー町探検 (生活) 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の生活を見直そう (学活) 千葉県動物公園へ行こう (生活) レッツゴー町探検 (生活) 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を振り返ろう (学活)
<p>(4) キャリアプランニング能力</p> <p>「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 係の仕事を決めよう (学活) げんかんそうじ (道徳・家族愛) 	<ul style="list-style-type: none"> わたしたちもしごとをしたい (道徳・勤労) 	

キャリア教育年間指導計画

第 3 学年

木更津市立祇園小学校

基礎的・汎用的能力	1 学期	2 学期	3 学期
<p>(1) 人間関係形成・社会形成能力</p> <p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宝物をしょうかいしよう (国語) ・わたしのしたこと (道徳) ・しごとチェンジ (道徳) 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流 (総合) ・調べたことをほうこくしよう (国語) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生を送る会の発表の練習をしよう (総合)
<p>(2) 自己理解・自己管理能力</p> <p>自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はたらく人とわたしたちのくらし (社会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いきって言ったらどうなるの (道徳) ・やくそくだもん (道徳) ・市の人々の仕事 	
<p>(3) 課題対応能力</p> <p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動の計画・実行 (学活) ・各種実行委員活動 		
<p>(4) キャリアプランニング能力</p> <p>「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はたらく (道徳) 	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズニアへ行こう (総合) 	

基礎的・汎用的能力	1 学期	2 学期	3 学期
<p>(1) 人間関係形成・社会形成能力</p> <p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジルからの転入生 (道徳・信頼、友情) ・ピアサポート① 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケンくんのこと (道徳・信頼、友情) ・ぼくは MVP (道徳・正直、明朗) ・ピアサポート②③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポート④
<p>(2) 自己理解・自己管理能力</p> <p>自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムくん (道徳・節度のある生活態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の体温計 (道徳・節度ある生活態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・こう太のなやみ (道徳・節度のある生活態度)
<p>(3) 課題対応能力</p> <p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日直、係活動、給食当番 清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーベル賞の生みの顔 (道徳・勤勉、努力、不とう不屈) 	
<p>(4) キャリアプランニング能力</p> <p>「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動の計画実行 (学活) ・学級集会の計画実行 (学活) ・みんなのためにできること (勤労・社会奉仕) ・くらしを守る (社会) ・住みよいくらしをつくる (社会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉体験 (総合) 	

基礎的・汎用的能力	1 学期	2 学期	3 学期
<p>(1) 人間関係形成・社会形成能力</p> <p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まかせてみようよ (道徳・信頼、友情、男女の協力) ・みんなの劇 (道徳・相互理解と支え合い) 		<ul style="list-style-type: none"> ・6年生を送る会 ・「持ち味」を生かして (道徳・信頼、友情、男女の協力)
<p>(2) 自己理解・自己管理能力</p> <p>自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひみつのトレーニング (道徳・節度のある生活態度) ・ガンジーのいかり (道徳・公正、公平、正義) 	<ul style="list-style-type: none"> ・短所も長所も (道徳・個性の伸長) 	
<p>(3) 課題対応能力</p> <p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川へGO (総合) ・工場見学 (総合) ・かもめの里訪問 (総合) 	
<p>(4) キャリアプランニング能力</p> <p>「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母の仕事 (道徳・勤労、社会奉仕) ・委員会活動 (児活) 	<ul style="list-style-type: none"> ・弘君の委員会活動 (道徳・勤労、社会奉仕) ・やることはできない (道徳・公正公平、正義) ・助け合う気持ち (思いやり・親切) ・ちひろの思い (道徳・集団や社会の一員として) 	

基礎的・汎用的能力	1 学期	2 学期	3 学期
<p>(1) 人間関係形成・社会形成能力</p> <p>多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 (学活・児活) ・1・6 交流 (学活) ・1 年生を送る会 (行事) ・世代による言葉のちがひ (国語) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一番近い自然・里山 (道・集団や社会の一員として) 	
<p>(2) 自己理解・自己管理能力</p> <p>自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よみがえった速球－藤川球児 (道・個性の伸長) ・鑑真和上 (道・希望、勇気、不とう不屈) 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行 (総合・社会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習 (総合・社会)
<p>(3) 課題対応能力</p> <p>仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日直、係活動、給食当番 清掃 ・実行委員会活動 		
<p>(4) キャリアプランニング能力</p> <p>「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく能力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動 (児活) ・歴史上の人物 (社会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事調べ (総合・夏休み) ・ゆめ・仕事ぴったり体験(総合) ・すあしにサンダルの天使 ・マザーテレサー (道徳・勤労、社会奉仕) 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業奉仕作業 (総合) ・生き方を考えながら読む 伊能忠敬 (国語) ・先輩からの手紙 (国語)

自分の就いてみたい

職業調べ

名前

自分の就いてみたい職業は

です。

仕事の内容

その仕事に就くために
必要なこと

仕事をしている様子
(絵でも写真でも OK)

調べてみて
思ったこと

ゆめ・仕事ぴったり体験2016

ゆめ・仕事ぴったり体験ってなに？

6年生になると、そろそろ自分の将来の夢が決まったりいろいろな仕事に興味を持ったりしていることと思います。そもそも、どうして仕事をするのでしょうか。それは、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方をしていく。」ためです。正確には「就業密着観察学習」といいます。「仕事をする」とはどういうことか、どのようなことに気をつけて仕事をしているのかということ、仕事している様子を見せていただいで学ぶこととなります。

今年度、みんなのキャリア教育を受け入れてくださる事業所の概略は以下の通りです。この中から、自分が仕事を見てみたい職種を3つ選び、エントリーシートに記入してください。

No	事業所	人数	仕事の概要
1	コンピューター関係	5	コンピューターの部品などを扱う
2	衣料品関係	3	衣料品販売のお店
3	コンビニエンスストア	4	
4	自動車関係	10	自動車販売や自動車の整備
5	公民館	4	
6	介護、お年寄り	10	介護施設の様子
7	動物関係	6	動物病院
8	郵便局	4	
9	消防署	5	
10	保育、幼稚園関係	65	保育園、幼稚園
11	美容関係	3	美容院のお仕事
12	花関係	4	花屋さん
13	スーパーマーケット	5	

ゆめ・仕事ぴったりに体験2016

名前 ()

観察させてもらいたい仕事の種類と観察の目的についてくわしく書きましょう。

	仕事の種類	観察の目的・希望する理由・質問内容など
第一希望		<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
第二希望		<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
第三希望		<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>